

学園につどう全てのみなさんへ

日本がポツダム宣言を受諾した第二次世界大戦の終戦から 77 年経った今、私たちは不戦や平和についてどれほど考えたことがあるでしょうか。戦争を経験したことがない私たちにとって、平和とはどういうものでしょうか。

立命館大学は、「平和と民主主義」を教学理念に掲げています。また、世界初の「大学立の総合的平和博物館」としての国際平和ミュージアムを有し、毎年 12 月 8 日には「不戦のつどい」を開催しています。そんな本学においても、真正面から平和を考える機会が減ってきているのではないのでしょうか。平和を当たり前そこにあるものと考えていないのでしょうか。

「不戦のつどい」実行委員会は、一人ひとりが当事者意識をもって、平和の持つ意味や重要性を考えることが大切だと考えます。それは必ずしも、戦争との対比で捉えるだけでなく、自分自身にとっての平和とは何なのかに思いをはせることから始められることだとも思います。

今回、平和を考えることの大切さを多くみなさんと共有するために、「不戦とは。平和とは。終戦から 77 年のいま、考えよう。」というスローガンを冠したポスターを作りました。ポスターに書かれた言葉から「あなたにとっての平和」を考えてみてください。そして、何か共有したいことがあれば、ポスターに記載している QR コードからアクセスして、オンラインの付箋に書き込んでください。

私たち「不戦のつどい」実行委員会は、不戦や平和に対する思いをみなさんと共有しながら、これからの「不戦のつどい」を考えていきたいと考えています。

「不戦のつどい」実行委員会

学友会・院生協議会連合会

教職員組合・生活協同組合

生活協同組合労働組合